

文部科学省 大都市大震災軽減化特別プロジェクト - 3
 「巨大地震・津波による太平洋沿岸巨大連担都市圏の総合的対応シミュレーションとその活用手法の開発」
 (中核機関：京都大学防災研究所)
 研究成果発表会

【特集】東海・東南海・南海地震に対する総合的な防災のあり方
 - 津波災害に対して今後 30 年にすべきこと -

東海・東南海・南海地震は今世紀半ばまでに確実に起こると予想されています。昨年公表された中央防災会議による被害想定では、もし 1707 年の宝永地震のように 3 つの地震が同時に発生すると、建物全壊が約 90 万棟、死者約 2.5 万人、経済被害は最大 81 兆円にのぼると広域巨大災害の発生が予想されています。この災害の特徴は、強い地震動による被害に加えて、西日本の太平洋側を中心に広域にわたって津波が来襲することです。阪神淡路大震災以来、あまり注目されてこなかった津波災害に焦点をあてて、地震発生までの残された時間の中で被害を最小限にするために、何をすべきかを総合的に検討したいと考えています。

日時：平成 16 年 7 月 29 日（木）10:00～平成 16 年 7 月 30 日（金）16:00
 場所：大阪新阪急ホテル 2F 花の間（大阪市北区芝田 1-1-35 TEL:06-6372-5101）
<http://hotel.newhankyu.co.jp/osaka-j/welcome-j.html>

プログラム

7月29日 於：花の間

9:45	受付、開場
10:00	開会挨拶 ・河田恵昭（大大特 -3 代表者、京都大学防災研究所・教授） ・中村隆行（文部科学省研究開発局地震・防災研究課・防災科学技術推進室長）
【研究成果発表(コア組織)】	
10:10	研究課題 1：巨大地震の強震動シミュレーションとその活用手法の開発 澤田純男（京都大学防災研究所・助教授）
10:35	研究課題 2：大規模ライフライン網の地震災害評価シミュレーション手法と耐震性向上技術の開発 佐藤忠信（京都大学防災研究所・教授）
11:00	研究課題 4：統合地震シミュレータに基づく災害対応戦略に関する参加型意思決定方法に関する研究 岡田憲夫（京都大学防災研究所・教授）
11:25	研究課題 5：新公共経営(New Public Management)の枠組みにもとづく地震災害対応シミュレータによる災害対応能力の向上 林 春男（京都大学防災研究所・教授）
11:50	昼食休憩
12:45	受付、開場
【特集】東海・東南海・南海地震に対する総合的な防災のあり方 - 津波災害に対して今後 30 年にすべきこと -	
13:00	総合的な津波防災とは何か 河田恵昭（京都大学防災研究所・教授）
13:30	東海・東南海・南海地震とその被害の特徴 震源と地震動の特性 増田徹（応用地質株式会社・地震防災センター長） 被害の広域性について考えておかなければならないこと 佐藤忠信（京都大学防災研究所・教授）
14:10	東海・東南海・南海地震にともなう津波とその被害の特徴 発生する津波の特徴 高橋智幸（秋田大学工学資源学部・助教授） 起こり得る被害の特徴 小池信昭（和歌山工業高等専門学校環境都市工学科・助教授） 臨海都市部を襲う津波災害 梅田一也（大阪府危機管理室危機管理課・企画推進主査） 津波防災計画とハザードマップ 須野原豊（国土交通省港湾局・海岸・防災課長）
15:10	休憩

*特集は続く

15:25	東海・東南海・南海地震津波の被害軽減に向けた対策 防潮施設による津波の被害抑止 平石哲也（港湾空港技術研究所海洋・水工部波浪研究室・室長） 地域津波防災計画について 高橋利昌（神戸市危機管理室・主幹） 災害情報と防災体制による被害軽減 越村俊一（人と防災未来センター・専任研究員） 津波防災ピクトグラムによる教育・啓発 ト部兼慎（㈱ジイケイ京都第 3 デザイン部・室長） 津波防災戦略 林 春男（京都大学防災研究所・教授）
16:40	パネルディスカッション 「残された時間をどう活用するか」 パネリスト： 津波予警報について：横田 崇（気象庁札幌管区气象台・技術部長） 広域防災拠点と連携：足立敏之（国土交通省近畿地方整備局・企画部長） 国としての対策：上総周平（内閣府・参事官（地震・火山対策担当）） 地方自治体としての対策：酒井浩一（高知県総務部危機管理課・チーフ） 千福好伸（大阪市・危機管理室長） 津波防災研究：首藤伸夫（岩手県立大学総合政策学部・教授） コーディネーター：河田恵昭（京都大学防災研究所・教授）
17:45	初日終了

7月30日 於：花の間

9:00	開場
【研究成果発表(サブ研究チーム)】	
	研究課題 6：関連する災害対応戦略研究
9:10	上水道ネットワークの広域復旧戦略シミュレーターに関する研究 永田 茂（鹿島建設㈱技術研究所・主管研究員）
9:30	大震災時における最適消防力運用 系井川栄一（筑波大学大学院システム情報工学研究科・教授）
9:50	災害対策本部要員の応急対応訓練用ゲームの制作 梶 秀樹（慶応大学総合政策学部・教授）
10:10	防災担当者の能力向上を目的とした図上訓練シミュレーターの開発 坂本朗一（(株)防災・情報研究所・主幹研究員）
10:30	防災用人的シミュレーションの研究開発 久保雅義（神戸大学海事科学部・教授）
10:50	復興まちづくり計画策定支援のための「建物データ更新型GIS」の性能設計と試作 中林一樹（東京都立大学都市科学研究科・教授）
11:10	仮設市街地の計画論の研究 濱田甚三郎（㈱首都圏総合計画研究所・代表取締役）
11:30	総括：河田恵昭（大大特 -3 代表者、京都大学防災研究所・教授）
12:00	終了

7月30日 於：花の間 -Hands-on Session-

13:00	災害対応ゲーミング「Crossroad」の実習会
～	矢守克也（京都大学防災研究所・助教授）
16:00	吉川肇子（慶應義塾大学商学部・助教授）

*発表者等変更になることがあります。

参加費：無料

定員：当日先着順 130 名

アブストラクト：<http://www.ddt33.dpri.kyoto-u.ac.jp/> に掲載予定

問合せ先：京都大学防災研究所巨大災害研究センター 大大特 -3 幹事長 林 春男（秘書 清水）

TEL: 0774-38-4273 Fax: 0774-31-8294